

祝

運航再開

小松

(石川)  
小松空港

毎日運航

【往路】11:45発 ▶▶▶ 13:55着  
【復路】10:25着 ◀◀◀ 6:35発

台北

(台湾)  
台北桃園空港

エバー航空でいく

とっておきの

彩りの国 台湾さんぽ上



コロナ禍の我慢生活のリベンジに、海外旅行者が急増中だ。彼らを選ぶ旅先で、常に上位を占めるのが台湾である。近くておいしくて安全で、おらかな空気が心と体に元気をくれる。ビギナーにもリピーターにも響く魅惑の旅をシリーズでご紹介。

# まずは 台湾の歴史をお勉強

日本が残した足跡が随所に  
激動の中で独自の道を歩む

**初** めてこの島を見たポルトガル船員の感嘆の声から「麗しの島」この愛称を持つ台湾。古くより多様な先住民が住み着いたが、特定の統治者がおらず、長らく「無主の土地」であった。

世界史に初登場したのは17世紀。中国は明朝、大航海時代の只中であつた。漢民族や倭寇の末裔も住み出していた台湾の価値に、西欧諸国が目をつけたのだ。1624年にオランダが台南に上陸し南部を占拠。さらにスペインとの勢力争いに勝ち、全土を掌握した。  
この西洋人支配を阻止し、英雄と崇められるのが鄭成功である。中国人を父に、日本人を母に持つ鄭は、1662年にオランダを追放して漢民族初の政権を樹立。明の再興を願い、台湾を拠点に清と戦ったが、あえなく病に倒れ、一族の統治は20年余で終幕となった。

その後約2世紀間は清の領地であつた。ただ清は統治に消極的で、対岸の福建省や広東省から来た移民を中心に台湾の開発が進められた。そして1895年、日本が日清戦争に勝利すると、50年に及ぶ日本統治が始まるのである。

産業振興、教育、インフラ整備…。欧米列強に負けまいと日本は植民地経営に注力し、それは後の台湾発展の礎となった。植民地支配には当然、光もあれば影もある。それでも多くの台湾人が親日的で、日本が残した遺産を大切に守り継いでいる。そんな場所で優しい笑顔に出会ったとき、私たちは日台の繋がりを感じるのである。

日本の支配が解かれた1945年以降も、国民党政府の統治、長期の戒厳令などと苦難が続いた台湾だが、試練を乗り越えて民主化を進め、今はハイテク産業を軸に目覚ましい経済成長を遂げている。歴史秘話に耳を澄ませば、もっと魅力的な台湾に出会えそつた。

▼中国王朝の歴史や文化に触れられる国立故宮博物院。およそ650~1000年前、明・清の中国皇帝時代の秘宝など、膨大なコレクションを展示。天然石の色の層を生かした「肉形石」や「翠玉白菜」は必見！



▲勇ましい衛兵の交代式を見られるのは、中正紀念堂、国父紀念館、忠烈祠。海軍、空軍、陸軍によって制服の色やヘルメットが異なる。※写真はイメージ ※国父紀念館は2023年7月以降改装のため参観不可



そして

# 台湾と石川の 深いつながりを知ろう

台湾と与那国島(沖縄県)との距離はわずか111km。日台は古くから関係が深く、とりわけ半世紀に及んだ日本統治時代には大勢の日本人が海を渡った。台湾では知らぬ者がいないと言われる八田與一も、その一人だ。

## 台

南市街から車で小一時間の地に、烏山頭ダムを擁する美しい丘陵公園がある。ダムを見下ろす丘には、作業服姿で物想う男の像。台湾人が父とも神とも敬う八田與一技師である。

金沢市に生まれ育った八田は、後に東京帝国大学土木工学科で学んだ。卒業後の1910年、「大風呂敷を広げたがる八田の才は、内地より外地で生きる」との恩師の助言により、台湾総督府土木部に着任。大規模工事が相次ぐ当地で実績を積み、その手腕は目置かれるまでになった。

とある日、任務でダム用地を探していた八田は、台湾最大の嘉南平原で飲み水にも事欠く農民に出会う。干ばつ、洪水、塩害…「彼らのためにこの荒地を緑に変えたい」。かくして大風呂敷の大構想が生まれた。

啞然とする総督府にも八田は動じず、紆余曲折の末1920年、ついに東洋一の烏山頭ダム工



◀▼烏山頭ダムのダム湖のほとりに立つ、金沢出身の八田與一氏の像。「偉そうな銅像は嫌だ」との八田の意向により、こうした普段着のポーズとなった。像の後ろには、八田與一・外茂樹夫妻の墓も立つ。烏山頭ダムは、堤高56m、堤頂長1273mのロックフィルダムで、日本統治時代の台湾に建設。農業用水を供給する重要な役割を担った。現在ダムの周辺は親水公園として整備され、多くの人が訪れている



事が最先端技術を駆使して開始された。鉄道を敷き、大型機械を輸入し、職員宿舎は家族分も用意。学校や病院、娯楽施設まで設け、マラリア予防に尽力した。身分の別なく人に接する八田は皆から慕われたという。

10年を費やし1930年完工。不毛の大地を随一の穀倉地帯に変えた八田は台湾の大恩人となったが、1942年、太平洋戦争で没した。「功績を後世に」との現地の人々の思いは強く、記念施設をダム周辺に造り、教科書に取り上げ、毎年の命日には日本の遺族や台湾総統も集う慰霊祭を行っている。

丘の上の銅像は戦時中に金属回収され行方不明であったが、関係者が発見して30年以上、再び設置できる日まで大事に隠していたそうだ。日台の絆に触れながら八田の夢を辿る旅は、きつと心に沁みるものとなるだろう。



◀▼烏山頭ダムにあるシャンゼリー通りの桜並木。実は春に開花するモモイロニセアカシア(マメ科)の並木。まるで、らんまんの桜の花のように美しく咲き誇るが、花は藤の花のように房になって咲くマメ科の植物。タイなどに多く自生するそう



## 2回目の予告



蓮池潭 龍虎塔



安平



## 3回目の予告



十分



小籠包

【参考図書】  
古川勝三著『台湾を愛した日本人』創風社出版  
乃南アサ著『美麗島紀行』集英社  
『時空旅人/台湾見聞録』株式会社三栄 など

取材・文:滝山 瑞代  
撮 影:沖崎 松美



# 高雄

カオシヨン

1



2



3

## パワースポットで運気をアップ 蓮池潭風景區龍虎塔

リエンチータンフォンチンチューロンフータ

蓮池潭風景區は、高雄市北部にある有名な景勝地。1周約5kmの美しい湖を囲んで極彩色の塔や廟が点在し、パワースポットとしても大人気だ。七重塔が一對でそびえる「龍虎塔」はこの地のシンボルで、それぞれの塔の出入り口にはあぐりと口を開けた龍虎が待っている。参拝者はまず、魔物の侵入を防ぐというジグザグの棧橋を渡って龍の口から入場。塔内を巡った後に虎の口から外に出るのがルールで、これにより厄が払われ、福がもたらされるそうだ。



4

1 手前がジグザグ棧橋、向こうに龍と虎。塔の上からの眺望もすばらしい 2 龍虎塔の正面にある慈濟宮は医療の神様を祀り、約300年の歴史を誇る 3 蓮の花に囲まれた棧橋の先には中国式東屋の五里亭 4 大都市・高雄の姿をパノラマで



**小松** (石川) **毎日運航** **台北** (台湾)  
 【往路】11:45発 ▶▶▶ 13:55着  
 【復路】10:25着 ◀◀◀ 6:35発

祝  
運航再開

**台南** タイナン  
 台湾で最初に首府が置かれた古都。17世紀のオランダ統治時代の遺跡をはじめ歴史的な建造物や寺廟が多く、風雅な佇まいから「台湾の京都」と呼ばれる。台湾屈指のグルメタウンで、古い建物を改装したカフェ・民宿も人気。

**高雄** カオシヨン  
 台北から高速鉄道で南下すると最短90分。台湾きっての大都市で、アジア有数の港町でもある。温暖な熱帯気候で交通の便もいい。歴史的遺産はもとより港の倉庫街をリノベした施設や新鮮な海鮮料理など魅力スポットが満載。



エバー航空でいく  
 彩りの国 台湾さんぽ 中  
 とっておきの





1 かつて銀座通りと呼ばれた目抜き通りに佇む。当時は台南一高いビルだった 2 見晴らしのいい屋上。赤いポストや台南名物の椪餅を模したディスプレイも 3 内外に木を多用、看板はカフェ・林珈琲のもの 4 可愛いグッズが豊富に 5 台湾の著名デザイナーズブランドが揃う



ハイセンスな台南グッズ大集合

林百貨店

リンバイフォ

1933年に日本人の林方一氏が開業した「ハヤシ百貨店」の建物を修復。2014年にご当地産品やファッション・文化の発信基地として蘇った。創業時の面影をそのまま宿すレトロな空間は観光名所としても大人気。屋上には往時に倣って神社があり、空爆を受けた際の砲弾痕なども残されている。デザイン雑貨から各種グルメまで、洗練された台湾メイドが豊富に揃う上、おしゃれなカフェやギャラリーも。台南散歩には外せない場所である。



台南  
タイナン

台湾の歴史はここから始まった

安平古堡

アンピンゲーバオ



1 約400年前の城壁。セメントの代わりに餅米汁や牡蠣殻灰などが使われた 2 歴史資料を展示する史跡記念館。背後は展望台 3 日本統治時代の税務司公舎、現在は博物館

17世紀前半にオランダが築いた城の跡。台南市西部の港町、安平にある。当初はゼーランドディア城と呼ばれ、1662年に鄭成功に奪取されるまで行政や貿易の中心であった。鄭一族が王城としてしばらく使用した後、清の占領下になると中枢機能が台南に移ったために城は寂れた。第二次大戦後、国民党政府が遺跡として整備。オランダ時代のレンガの城壁にはガジュマルが絡み、日本統治時代に建てられた税関舎も残存。台湾が辿った歴史を今に伝えている。

蟹おこわで人気の老舗レストラン

阿霞飯店

アーメイファンティエン

1940年創業、美食の街・台南で知らぬ人のない有名店。かの蒋介石も足繁く通ったそうだ。この店に来た客が必ず注文するメニューが、子持ちワタリガニをふんだんに使った蟹おこわ「紅蟳米糕」。蟹みそや黄色い卵がたっぷり絡むごはんは、蟹の旨みが芯まで沁みて格別の味わいだ。他の台南メニューも多彩に揃い、ゆったりとした空間で充実のサービスが提供されている。人気店ゆえ満席の場合も多く、事前予約が望ましい。



1 デザートも隠れた人気メニュー。赤い白玉や小豆入りの杏仁豆腐はあっさり上品で、満腹でも「デザートは別腹」 2 台湾人は信仰心が厚い 3 台南で古くから親しまれているタウンナギの炒め物 4 これが阿霞飯店名物の蟹おこわ。蟹をまるごと贅沢に

優美な遺跡で台湾史をなぞる

赤崁樓

チーカンロウ



1 艶やかな中国様式の海神廟。建物の手前に並ぶ石碑は御鳳眞碑と呼ばれ、石碑一枚一枚を龍の子ども(鳳凰)が背負っている 2 柱や梁の美しい装飾も必見 3 海神廟のバルコニーからは庭などが見渡せる 4 このアーチから建物に入る

1653年にオランダが防衛の要として建てた城。台南市街にあり、昔の名はプロビンティア城。統治者の交代とともに城の役目も変容し、鄭成功時代は行政の拠点として機能した。オランダの城は清の占領下で荒廃し、現在優美に佇んでいる海神廟は清時代の1875年の建造物。日本軍が病院に利用した時期もある。城内は美しく整備され、各時代の興味深い史跡に触れられる他、学問の神様を祀る文昌閣などもあり、観光客や参拝者が絶えない。





**小松**  
(石川)

毎日運航

**台北**  
(台湾)



【往路】11:45発 ▶▶▶ 14:35着  
【復路】10:25着 ◀◀◀ 6:35発

**台北** タイペイ

人口250万人を超える、台湾の政治・経済・文化の中心地。世界四大博物館の一つに数えられる国立故宮博物院を筆頭に、エネルギーな夜市、レトロな路地、最先端のショッピング街…。新旧の話題のスポットがエリアごとに揃い、絶品グルメも至る所で味わえる。郊外に足を伸ばせば九份などの人気観光地も多く、何度訪れても飽きることがない。桃園国際空港とはMRTで直結。



彩りの国

台湾さんぽ 下



迷宮さながらの幻想の街 **九份** チウフェン

アニメ『千と千尋の神隠し』の場面を彷彿とさせると人気の地。台北市街から約40km、海を見下ろす崖沿いにタイムスリップしたような家々がひしめく。19世紀末に金鉱で賑わったが閉山により衰退。手つかずで放置されていたところを映画『悲情城市』のロケ地に選ばれ、聖地巡礼で蘇った。昔ながらの商店が軒を連ねる基山街と、石段が郷愁を誘う豊崎路を中心に、迷宮のような世界が広がる。黄昏時から宵へ、提灯が灯る情景もドラマチックだ。

1 『千と千尋…』のモデルではと話題になった阿妹茶酒館。湾を一望する場所に建つ。昼は絶景、夜は提灯の灯りが旅行者を虜に 2 基山街の通りの両側には名物グルメや土産物を売る店が密集 3 九份で最古の茶藝館、九份茶坊。築100年超の建物内に選りすぐった商品が並び、お茶の試飲も 4 石段や提灯が旅情をそそる豊崎路の風景





1



2



3



4

1 エビ釣りや麻雀ピンゴなどゲーム屋台も多彩 2 道教の廟、慈誠宮。士林夜市はこの門前市が起源 3 色とりどりの台湾小吃に、台湾の食の奥深さを実感。夜市中心部の士林市場はアーケードで、雨天でも安心

お祭り気分が毎晩味わえる

士林夜市

シーリンイェシー

夜市の多い台北でも最大のスケールを誇り、連日夕刻から深夜まで人通りが絶えない。胡椒餅、大鶏排、臭豆腐など台湾の魅力のB級グルメ(台湾小吃)が店頭を賑わせる他、雑貨・衣料まであらゆるものが揃う。



1

ご利益も人気も最強のパワースポット

龍山寺

ロンシャンスー

1738年創建の台北最古の寺院。華麗な建物の中に多数の神仏が祀られ、恋愛、学業、健康とご利益多彩で参拝客が絶えない。龍門から敷居をまたいで左足で入るなどと手順が決まっており、参拝前に確かめておきたい。

1 入口の龍門は三川殿(前殿)の右手 2 本尊などが祀られた正殿外観。技を凝らした装飾物の数々も必見



2

最古の間屋街がリノベで進化

迪化街

ディホアチェ

台北最古、商業の中心として栄えてきた間屋街。乾物や漢方薬などを扱う老舗が並んでいるが、近年古い建物が次々にリノベされ、おしゃれなカフェやショップに変身中だ。フォトジェニックな佇まいに人気急上昇。



1



2



3



4

1 バロック調の商館や日本統治時代のビルなど歴史的建造物をリノベで再生 2 3 間屋の店先には漢方薬や茶葉、カラスミなど興味深い品が並び、土産物探しにもってこい 4 高価な中華食材・海苔の集なども豊富に

ここもCheck!

リノベスポット

レトロでお洒落な新定番スポットがオススメ

華山1914文創園區

●ホアシャンイーチーウイース ウェンチュアンユエンチュー

日本統治時代、1914年建造の酒造工場跡をリノベ。芸術イベントやライブハウス、飲食店など台湾カルチャー発信基地。



松山文創園區

●ソンシャンウェンチュアンユエンチュー

1937年に建築されたたばこ工場跡をリノベ。レトロモダンなショップやカフェ、芸術イベントなどクリエイティブな複合施設。



1

1 平溪線は十分老街のど真ん中を走る。運行は1時間1本、列車が来ないときは通路となり、天燈上げも線路上で 2 ランタンの各色には金運や幸福などの意味があるそうだ 3 レトロな商店街

線路の上で天燈上げ体験

十分

シーフェン

ローカル列車・平溪線も人気だが、訪問者の一番のお目当てがランタン(天燈)飛ばしだ。十分は台湾では神の住処に最も近い場所とされ、ここで天燈を飛ばすと願いが叶うのだという。次々点火されて放たれるランタンが大空を舞う様子は見るだけでも感動ものだが、訪れた際はぜひチャレンジを。



2



3

台湾一高いビルで美景&美食

台北101 / 鼎泰豊

タイペイリーナー/ティンタイフォン



地下5階・地上101階で高さ509m、2004年のオープン時には世界一の高さを誇った超高層ビル。ショッピングモールやレストラン、オフィスなどが入っている。必見は、直通エレベーターで行く89階の展望台だ。全面ガラス張りのフロアからは台北の街並みがパノラマで楽しみ、日没後には圧巻の夜景を満喫できる。地下1階には行列の絶えない小籠包店「鼎泰豊」が。ニューヨークタイムズで世界10大レストランに選ばれた名店の味に舌鼓を打とう。



2



4



3

1 台北101のライトアップは近未来的 2 鼎泰豊名物の小籠包。皮5g、あん16g、ひだ18枚というレシピを厳格に守り続ける。透けるほど薄い皮の中にはあふれる肉汁と極旨のあん 3 エビシュウマイ蝦仁焼売 4 ガラス越しに職人技も見学できる



1